

吉川地域における施設一体型小中一貫校設置に係る学校用地選定の考え方に基づく

検討すべき学校用地 8 案の総合的な整理（案）

1	吉川小学校 (西側拡張)	○防犯性が高く、通学に利点がある。 ○既存施設が比較的新しく、利活用の可能性があるため、建設費の抑制が期待できる。 ○必要な敷地面積が確保できないため、新たな用地買収と大規模な造成が必要になる。 ○用地買収、造成に係る費用と、開校までに時間がかかることが予想される。 ○工事期間中において教育活動への影響が懸念される。
2	吉川中学校 (拡張)	○アクセスが良く、大規模造成が不要である。 ○必要な敷地面積が確保できないため、新たな用地買収が必要となるが、拡張場所によっては地すべり危険箇所に入る可能性がある。 ○既存施設は築 60 年を超えており、利活用は非常に難しい。 ○工事期間中において教育活動への影響が懸念される。
3	吉川高校	○アクセスが良く、必要な敷地面積を確保することが可能で、大規模造成が不要である。 ○工事期間中において教育活動への影響は出ない。 ○最も早い開校が見込まれる。 ○県の保有地のため、市の一存で判断できない。 ○既存施設は築 50 年を超えており、利活用には課題がある。
4	吉川総合公園	○必要な敷地面積を確保することが可能である。 ○工事期間中において教育活動への影響は出ない。 ○都市公園区域であるため、学校設置は基本的に不可である。 ○設置する場合は法的手続きに加え、代替地を確保し公園機能の回復が必要になることから、用地買収、造成に係る費用と、開校までに時間がかかることが予想される。
5	町内広大地① (福井)	○必要な敷地面積を確保することが可能である。 ○工事期間中において教育活動への影響は出ない。 ○山林・原野の用地買収（多くの地権者との交渉、用地の境界画定、登記事務）、造成に係る費用と、開校までに時間がかかることが予想される。 ○インフラ整備等（進入道路、浄化槽、調整池等）に係る新たな費用が発生する。 ※福井・・・公共交通のルートに入っておらず、アクセスに課題がある。 ※毘沙門・・・地域の広範囲において土砂災害警戒区域が点在する。 ※上松・・・県道からの距離があるため、進入路整備に課題がある。
6	町内広大地② (毘沙門)	
7	町内広大地③ (上松)	
8	吉川町公民館 周辺	○アクセスが良い。 ○工事期間中において教育活動への影響は出ない。 ○学校用地に想定した場合、「洪水・土砂災害ハザードマップ」によると安全性（水害）に課題がある。 ○周囲に大きな建築物が多数あり、用地買収に係る費用が大きくなる。